

“ひきこもり状態” ひとりで悩んでいませんか？



ご本人

ご家族

- ・外に出ることが不安
- ・何もやる気が起こらない
- ・ひきこもり状態から抜け出したい

- ・子どもがひきこもり状態かもしれない
- ・どこに相談したらいいかわからない
- ・このままだと将来が不安

社会福祉協議会では、ひきこもり状態にある本人、家族などからの相談に応じています。ひきこもりは病名ではなく、状態を表す言葉で、誰にでも起こり得ることです。悩みや不安を一人で抱え込まずに、まずは気軽にご相談ください。相談することで、あなたが一歩を踏み出せるきっかけを、一緒に考えていきましょう。

対象者 ひきこもり状態でお悩みのご本人・ご家族

支援内容 ご本人・ご家族から電話、FAX でのご相談をお受けしています。
ご相談の内容によって、専門の支援機関におつなぎします。

相談受付時間 : 平日の午前9時から午後5時

社会福祉法人 錦江町社会福祉協議会
TEL 0994-22-2000 FAX 0994-22-2092



3年ぶりに花瀬川で開催されたやまんなか音楽会。音楽会の出演者と一緒に演奏やリズムを刻むなど音楽を楽しむワークショップも行われ、多くの子どもたちが参加していました。



灯籠やキャンドルが花瀬を彩る やまんなか音楽会を開催

9月10日に花瀬自然公園でやまんなか音楽会が開催されました。弦楽団体キャラバン・ストリングスと未来づくり協力隊の伊藤愛さんの演奏や和紙風船に願いを記入して飛ばすイベントが行われ、約3,000人が来場。灯籠や子どもたちが制作したペットボトルキャンドルが会場を彩り、例年以上の規模で花火が打ち上げられ幕を閉じました。

いろんな人の立場になって考える大切さ 体験会を通じて身体的特徴を理解

9月22日、錦江中で高齢者などの立場になって身体的特徴を理解する疑似体験会が行われました。視界が不明瞭になる眼鏡や重りを体に付けて歩く高齢者体験や車いす体験などが行われ、1年生43名が参加。濱田幸奈さんは「目の不自由な人やサポートしている人は毎日大変な思いをしていると改めて感じました」と話しました。



疑似体験では、サポート役と二人一組となり、サポートをすることの大変さと重要性も学ぶこともできました。

清掃業として仕事をしている2社は、普段の掃除では落ちていない汚れもプロの技術を使い、校内全てのトイレを綺麗に清掃。



大根占小学校 150周年を記念して実施 合同で校内トイレ清掃ボランティア

大根占小学校で(有)大隅南北と神川出身の徳留正浩さんが代表を務める鹿屋市の(株)トラストがトイレ清掃ボランティアを行いました。大根占小学校が創立150周年を迎えることから、綺麗な環境で学校生活を過ごしてほしいと企画。(有)大隅南北の前田 珠 社長は「訪れるいろんな方を綺麗な環境で迎えたい」と笑顔で答えました。